

## 『新情報システム学序説』の発行と配布について

新情報システム学体系調査研究委員会委員 渋谷照夫

『新情報システム学序説』を本年2月28日に発刊することができました。会員の皆様の初めとして多くの方々のご支援、ご協力を頂きましたことに厚くお礼申し上げます。

新情報システム学体系調査研究委員会は2009年度に発足し、約5年間に渡り情報システム学体系確立に向けた研究活動を展開して参りました。活動を顧みますと、2009年度～2011年度には情報システムの各分野（記号論、データモデリング方法論、モデリングと哲学・言語との関係、教育）の有識者から「情報システムについての認識」を伺い共有し、委員会基本方針検討時の参考としました。

2012年度には「情報システム学体系」を出版物とする基本方針を決定し、その際に従来「情報システム学」といわれている内容を抜本的に見直し、学会理念“人間中心の情報社会実現”に沿った情報システム学体系を構築していくことを確認しました。そして、新情報システム学体系を早期に確立し広く社会へ問うことと、従来、「情報システム学」として記述された内容の多くが、コンピュータシステムを中心とした情報処理について説明している状況を変革することを挙げました。

2012年度10月～3月に、基本概念作りから出版までを一つのプロジェクトとして計画を策定し、推進することを決定いたしました。

2013年度4月以降、コンセプトの具体化と出版計画に沿った各構成章の執筆活動を行って参りました。執筆者は当委員会メンバを含めて、執筆者として応募頂いた会員の多数の方22名で構成されております。また、レビューアとして応募頂いた有識者の方々7名から貴重なご意見を伺いました。このコンセプト具体化と執筆活動については、通常のシステム開発プロジェクトのマネジメントと同様に進捗管理、課題管理、問題点と対策等を実施し、執筆者、レビューアの皆さんの熱意とご協力を頂き、予定通り出版することができました。

本序説の骨子としましては、従来の「情報システム学」といわれた教科書、書籍が往々にして「コンピュータ」を中心とした記述構成となっているのに対し、情報概念、情報行動と言う基礎から、情報システム構築の実務、社会における情報システムとしての現代的課題も含めて論旨を展開した新しい情報システム学体系としました。

会員の皆様には是非とも、この新しい考え方からなる本序説を有効に活用して頂きたいと思っております。同時に、皆様の序説に関するご意見をお願い致します。読後の所感やご意見などのアンケートについては、別途、学会HPやメール等でご案内予定です。

今後、2014年度に『新情報システム学序説』の普及活動を予定しております。

直近では、当学会シンポジウム（5月17日）において内容紹介（特徴や他との差異

等)、プロジェクトの経緯について説明する予定です。そして、序説の説明会や必要に応じて関連する研究会等を検討、推進して参ります。

また、情報システム研究・教育を実践するために教育機関中心に本書を寄贈し、適宜、要望や必要に応じて説明の場を設けてゆく方針です。さらに、企業や社会に向けてこの新しい情報システム学を発信し普及活動に努める所存です。

最後に、本書の配布については下記のルールとさせていただきます。

まず、会員の皆様には、当学会の2014年度中に開催されるシンポジウム、研究発表大会、研究会（別途定める）の参加時に本書を配布（無料）致します。本年5月18日以降は、本書入手要望のあった会員の方には送付して配布（無料）致します。

（尚、無料配布は会員様一人に対して、1回のみです。）

次に、会員外の一般の皆様には、要望があった場合に有償（頒価3,500円、送料込み）にて配布致します。購入代金支払はお振込みとさせていただきます。また、代表して購入される場合は、代表者へ必要部数を送付し代表者の方から代金を学会へお振込み頂くこととします。

本書の配布に関する問合せ先⇒情報システム学会・事務局

メール: [issj-office■issj.net](mailto:issj-office@issj.net)（■を@に置き換えてください）

以 上